

TOKYO INTERNATIONAL DEAF FILM FESTIVAL
東京ろう映画祭

第二回東京国際ろう映画祭開催！ろうにまつわる国際色豊かな30作品の 上映ラインナップ&来日ゲスト・関連企画決定！！

報道各位、関係者各位

平素よりお世話になっております。2019年5月31日（金）～6月3日（月）にユーロライブをメイン会場として開催する第二回東京国際ろう映画祭の全上映ラインナップ、ならびに関連イベントが決定しましたのでお知らせいたします。

東京国際ろう映画祭は、ろう者の社会や芸術の発展と育成、また誰もが自由に映画と芸術の興味を共有できる場や聴者とろう者の相互理解の場を創出することを目的としています。

＊ろう者の視点で厳選した世界中のろうにまつわる多彩な映画作品を一挙上映！

第二回のテーマは「可能性」です。昭和を生きた日本のろう監督の手による名作から、世界各地の映画祭で上映された最新の話作まで、世界初上映のプレミア作品や日本未配給作品を含む30作品を4日間で一挙に上映します。ろうの世界は良くも悪くも様々な可能性に満ちています。想像し、考え得るありとあらゆるリアリティと幻想を映画を通じて皆様にお届けしていきます。

◎秀作ぞろいの公募11作品を上映！観客賞を新設！

今回より始まった作品公募には15の国と地域から38作品の応募があり、その中から11作品をセレクトしました。アート、アニメ、コメディ等、ジャンルも様々にいずれも見応えのある秀作ばかりです。公募作品は上映後、一般観客を対象に投票を募り、最も支持を得た作品を最終日のクロージングセレモニーで観客賞（新設）として表彰します。

◎海外からの招聘ゲスト多数！

映画祭期間中は上映作品の監督・出演者をはじめ、海外ろう映画祭のディレクターやコアスタッフが多数来日し、舞台挨拶やシンポジウムに登壇します。

【来日予定ゲスト】

・6/1（土）『リバー・ポリティ』舞台挨拶 ・6/2（日）「アメリカ映画業界のろう者と聴者」-The Deaf Essence in the Film Industry-ワークショップ登壇	ジュール・ダモン（監督）/ジョシュ・カスティエユ（出演者）/アメリカ
・6/1（土）・6/3（月）『手話時代』舞台挨拶	蘇青（ミー・ナー）（監督）/芳芳（スー・チン）（出演者）/中国
・5/31（金）シンポジウム登壇 「日本・アメリカ・イタリアのろう映画祭からみる現在と未来」	マイケル・アンソニー（DEAF SPOTLIGHTの理事長兼シアトルろう映画祭のフェスティバルディレクター）/アメリカ
・5/31（金）「日本・アメリカ・イタリアのろう映画祭からみる現在と未来」 ・6/5（水）「ろう者の言語、歴史、文化とオーラルヒストリー」シンポジウム登壇	ルカ・デス・ドリデス ローマろう研究所（ISSR）職員（研究員、アーキビスト、司書）・ローマ国際ろう映画祭（CINEDEAF）の創設メンバー/イタリア

◎ 初挑戦の音声ガイド上映や、第一回東京ろう映画祭で好評だった手話弁士の登壇のイベントも！

日本のろう者とインドの盲者が共に旅をするロードムービー『TOTA』。ほか 3 作品の上映では、バリアフリー映画鑑賞推進団体シティ・ライツの協力のもと、本映画祭初となる音声ガイド付き上映を実施。ろう者、聴者のみならず、盲者の方にも作品をお楽しみいただけます。また、中国の様々なろう者を追ったドキュメンタリー『手話時代』では、日本語が母語ではないろう者によりわかりやすく伝えるため手話弁士が登壇します。

- ・音声ガイド付き上映：6月2日（日）10：30 上映作品『TOTA』・『渦巻』・『サイレントチャイルド』（会場：ユーロライブ）
- ・手話弁士上映：6月3日（月）14：00 上映作品『手話時代』（会場：ユーロライブ）

◎ 全作品の英語字幕付き上映&トーク・シンポジウムでの多言語情報保障を実現！

海外からのお客様にも本映画祭をお楽しみいただけるよう、全ての作品に英語字幕を付け上映します（『教誨師』『サイレントチャイルド』は日本語字幕のみ提供）。また、映画祭で開催する舞台挨拶やトークイベントでは日本手話通訳はもちろん、アメリカ手話・国際手話通訳、さらに音声認識アプリUDトークによる日英リアルタイム字幕表示を行い、多言語の情報保障・情報支援に対応します。

* 特別上映企画として『教誨師』を日本語バリアフリー字幕付きで日本初上映決定！

東京国際ろう映画祭では、ろう者により多様な映画作品を知ってもらおうと、これまで強い要望がありながら字幕上映が実現していなかった作品のバリアフリー字幕制作・上映に継続的に取り組んでおります。今回は、名脇役として活躍されながら昨年2月に急逝した大杉連氏の最初のプロデュース作にして最後の主演作『教誨師』を上映します。

<東京国際ろう映画祭 開催概要>

【主催・運営】東京ろう映画祭実行委員会

【助成】アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

【特別協力】イタリア文化会館/バリアフリー映画鑑賞推進団体シティライツ

【協賛】Palabra 株式会社/アルファ ロメオ/Shamrock Records 株式会社（音声認識アプリ「UDトーク」開発会社）/いとをかし Cafe/株式会社博報堂 DY アイ・オー

【後援】中国大使館文化部/ブリティッシュ・カウンシル/東京都聴覚障害者連盟

【宣伝協力】妹尾映美子/静岡×カンヌ×映画プロジェクト実行委員会

【協力】ろう者と映画を楽しむ会/ポーランド映画祭/大阪アジア映画祭/台湾映画同好会/CINEDEAF/DEAF SPOTLIGHT/シネマジャック&パティ/ロフト 9/アップリンク/ユーロライブ/チェルステ・スタジオ松濤/ Tabela

第二回東京国際ろう映画祭上映作品一覧（全30作品）

◆ FOCUS ON ASIA TDF 4作品

アジアに生きるろう者の姿を映し出す、日本未配給の鑑賞機会が貴重な4本



『手話時代』 Sign Language Time ◎ インターナショナルプレミア

監督：米娜（ミー・ナー）/蘇青（スー・チン） 2010年/中国/中国語・中国手話・日本語字幕・英語字幕・簡体字字幕/87分
山形国際ドキュメンタリー映画祭で上映された『白塔』のもう一つのドキュメンタリー映画。若い頃に踊りを勉強したダンサーのろう女性、芳芳（ファンファン）の視点を中心に、様々な都市や時間で過ごす2000万人のろう者の日常を追う。彼らの生き生きとした手話を通して、雇用や教育、犯罪、結婚などの社会と文化が浮かび上がってくる群像劇。ろう者を兄弟にもつ蘇監督とこれまで中国のろう者を撮ってきた米娜監督の視点から中国を映し出して行く。



『聴説』 Hear Me ◎ 未配給作品

監督：鄭芬芬（チェン・フェンフェン） 2009年/中国台湾/中国語・中国手話・日本語字幕・英語字幕/109分 協力：台湾映画同好会 字幕提供：大阪アジア映画祭
聴覚障害者のための総合スポーツ競技大会・デフリンピック出場を目指す水泳選手のシャポント、彼女を支える妹のヤンヤン。そんな姉妹と偶然知り合った弁当屋の青年・ティエンクオが織りなす青春ドラマ。監督がニュースで見た事実を元にストーリーが作られた。台湾では台北でのデフリンピック開催に合わせた2009年夏に公開され大ヒット。2010年に大阪アジア映画祭上映「観客賞」を受賞。



『TOTA』 TOTA ◎ ジャパンプレミア

監督：八幡亜樹 2012年/インド・日本/日本語・日本語字幕・英語字幕/52分/無音（一部音あり）
インド人の盲目の蠟燭職人と、日本人の聾の舞踏家、国籍も言語も違う二人がインドで出会う。共通の言葉も視覚や聴覚情報もない極限の手段の中で、互いの存在を認識していく姿を追ったロードムービー。日本語でもヒンディー語でもない二人だけの言語と空間からコミュニケーションの根源を問う。国際交流基金の制作協力のもと、インドのラリット・カラ・アカデミー＝国立芸術アカデミーにて上映された。



『楽しみ日曜日』 The Happy Sunday

監督：深川勝三 1961年/日本/日本語・日本語字幕・英語字幕/70分/無音/ DVD未販売
青空の中、聾者グループのピクニックに遅れてやってきた男性が「パレーの招待券をもらったので観てきた」と語ったのがもとで色々な会話が始まるのだった...『たき火』『三浦浩翁半生記』を撮った鬼才監督深川勝三の処女作、様々な短編で織り成すオムニバス。今回100分超の作品を70分に再構成して特別上映。

◆ PANORAMA 4作品

世界の広さと奥深さ、そしてあなたのアイデンティティを問いかける4作品



『リバース・ポラリティ』 Reverse Polarity ◎ インターナショナルプレミア

監督：ジュール・ダマロン 2018年/アメリカ/アメリカ手話・英語・日本語字幕・英語字幕/43分
ボーイフレンドに別れを告げ、新しい恋を探そうとするチェイスは、ソウルメイトを引き合わせるミスティアスな仲人、イトに出会う。イトは彼にピッタリな人を知っているが、その人は彼が 予想していない相手だった...その思いもよらないその展開に必見！ろう者のための様々な動画を配信しているDPAN TVが送る、6つのエピソードを1本化した大人向けLGBTラブロメディ。（R-18指定）



『音のない世界で -Sound and Fury-』 Sound and Fury

監督：ジョシュ・アロンソン 1999年/アメリカ/アメリカ手話・英語・日本語字幕・英語字幕/79分/DVD未販売
人工内耳移植により、耳が聞こえない人の聴覚が回復する可能性が広がってきている。聴覚に障害のある幼い子どもに移植を受けさせるか、あるいは、あるがままの姿を尊重すべきか。難しい選択を迫られる2組の夫婦を追ったドキュメンタリー。それぞれの決断に至るまでの、お互いの意見のぶつかり合いや心の葛藤を克明に映し出す。



『音のない世界で -6年後-』 Sound and Fury : 6 Years Later ◎ インターナショナルプレミア

監督：ジョシュ・アロンソン 2006年/アメリカ/アメリカ手話・英語・日本語字幕・英語字幕/29分
人工内耳協会からの依頼を受けて制作した『音のない世界で』の6年後を追ったドキュメンタリー。9歳に人工内耳を装着した娘は聴者とスムーズに交流し、聴者の世界に住むことが容易になった。読唇術と会話を通して成長していく娘は両親がいる聾者の世界と彼女がいる聴者の世界、2つの世界を持つようになる...人工内耳の可能性とは。ろう者の世界の現実を提示する作品。



『シニエ -手話を話す-』 Signing ◎ インターナショナルプレミア

監督：マリト・アピブ 2017年/フランス/各国の手話・ヘブライ語・英語・フランス語・日本語字幕・英語字幕/60分
手話は多種多様で、それぞれ独自の文法と構文、独自の豊かさや複雑さを備えている。本作監督は手話の未知の領域に挑戦する。3世代の主人公、聾者と聴者、そしてハイファ大学手話研究所の研究者は、前世紀にイスラエルで進化した手話について語る。監督は人類の母国語、翻訳や世代間伝達についての議論を続けていく。人間の言語に対する私たちの認識を広げるための招待状。

◆ CINEDEAF (ローマ国際ろう映画祭) セレクト 1作品

イタリアのCINEDEAF(ローマ国際ろう映画祭)スタッフがセレクトした映画を上映します。



『勝利のボイス』 The voice of victory ◎ インターナショナルプレミア

共同監督：イラリア・ガルブセラ/アントニオ・ガラルディ 2016年/イタリア/イタリア手話・イタリア語・日本語字幕・英語字幕/67分
スポーツは私たちに夢や希望を与えてくれる。様々なスポーツ競技に携わる聴覚者やろう者が自らの経験や困難を語って...6人の耳が聞こえないアスリートの人生を追ったドキュメンタリー映画。

◆特別上映企画 日本語字幕付き初上映作品

ろう者へ多様な映画の鑑賞機会を。東京国際ろう映画祭がバリアフリー字幕を制作・上映。



『教誨師』

監督: 佐向 大 2018年/日本/日本語・日本語字幕/114分

プロテスタントの牧師、佐伯保(大杉漣)。彼は教誨師として月に2回拘留所を訪れ、一癖も二癖もある死刑囚6人と対話していく。「教誨師」の役目は受刑者の道徳心の育成や心の救済に務め、彼らが改心できるよう導くこと。死刑囚に寄り添いながらも自分の言葉が届いているのか苦悩する佐伯は自分の人生にも向き合うようになる。“死”の側からとらえた強烈な“生”の物語、そして名脇役で知られている大杉漣氏の最初のプロデュース作にして最後の主演作。

◆ろう監督 短編特集 4作品

ろう者ならではのユニークな視点や多様な表現が光る4作品。従来のろう者の型にはまらない自然な演技にも注目!



『彼について』 To know him ◎アジアプレミア

監督: テッド・エヴァンス 2018年/イギリス/イギリス手話・英語・日本語・英語/28分

パートナーであるロブを突然事故で亡くしてしまうサラ。悲しむ彼女は医者からロブを引き取りたいと伝えるが、両親がいらないはずのロブの父に連絡したという『THE END』で話題になったテッド・エヴァンス監督のヒューマンドラマ新作。第21回ブリティッシュ・インディペンデント・フィルム・アワード 最優秀英国短編賞受賞。



『事件の前触れ』 Signs of an affair ◎ジャパンプレミア

監督: ルイス・ニースリング 2017年/イギリス/イギリス手話・英語・日本語字幕・英語字幕/28分

フローラは良くも悪くもない結婚生活を21年間送っていた。ところがある日、夫のフレッドは「お茶に砂糖を入れなくて良い」とフローラに告げる。何か怪しいとすぐ悟った彼女は夫の行動を尾行し始める…本作監督の前作『ステア・ヒア』に続く痛快なブラックコメディ第二弾。



『あだ名ゲーム』 The Sign Name Game

監督: 今井ミカ 2014年/日本/日本語手話・日本語字幕・英語字幕/13分/無音

ろう者の中には、伝統的な「あだ名ゲーム」という遊びがある。そんな中、とある聾学校の生徒3人は、「あだ名ゲーム事件」の心霊スポットの情報をインターネットで手に入れた。3人の好奇心は高まり、3人はその心霊スポットへと向かって行った…。第2回アイルランド国際映画祭2014 短編映画部門最優秀賞、2018年第1回上海国際ろう映画祭 脚本賞など各ろう映画祭にて受賞。



『父』 Father

監督: 今井彰人 2016年/日本/日本語手話・日本語字幕・英語字幕/20分/無音

公演が空いている中、介護施設の職員からメールが来た。「最近、お父様が外出したがついてます。1日だけでも良いのでどこへ連れてあげてください」父が認知症を患ってから距離を置いていた息子。厭々ながらも劇場へ連れていくが父の思いがけない姿を目にする。2016年度第13回さかの映像祭にて優秀賞・深川勝三・睦賞・会場特別賞受賞。

◆聴者監督 短編特集 6作品

世界の映画祭で話題となった作品多数。聴者監督の目線でリアルなろう者の様子を鮮明に映し出す6選。



『インナー・ミー』 INNER ME ◎ジャパンプレミア

監督: アントニオ・スパン 2016年/コンゴ/コンゴ手話・スワヒリ語・日本語字幕・英語字幕/32分

コンゴの埃まみれる道、混雑した市場、食肉処理場を歩くろう少女と、様々な運命と宿命の下にいる3人のろう女性一彼女たちの力強い生命力を通した人間賛美の作品。カンヌ映画祭2016年短編部門ノミネート作品。



『渦巻』 Whirlpool ◎アジアプレミア

共同監督: ケイト・バクスター/エリザベス・ディクソン 2017年/イギリス/英語・日本語字幕・英語字幕/17分

盲目ろう者の熱心な公民権活動家であることで知られているヘレン・ケラーをベースにした短編。マスコミや世間の人々、彼女の家族からの偏見にさらわれている彼女は自分自身でさえも先入観に囚われていく…スリリングな映像と心理描写が見事なサスペンス。上映後に監督からのメッセージ動画上映有り。



『サイレントチャイルド』 The Silent Child

監督: クリス・オーバートン 2017年/イギリス/イギリス手話・英語/日本語字幕・英語字幕/21分

イギリスの片田舎に暮らす4歳になる聾者のビー。中産階級の彼女の家族は、自分たちの「壊れた」子どもが現実世界に生きていけるようその場しのぎの解決方法を探していた。しかし社会福祉士を雇ったことにより、問題はビー以外にあることが明らかになっていく。2018年アカデミー賞最優秀短編映画賞など受賞。



『サイン』 Sign ◎未配給作品

監督: アンドリュー・キーナン・ポルガー 2016年/アメリカ/アメリカ手話/15分

通勤電車で見かけた時からお互いに気になっていたアロンとベン。アロンに話しかけたベンだが、アロンがろう者であること知り、手話を勉強しつつアロンとの距離を縮めていく。心動かされる美しい映像とテンポ良く進んでいく青春ラブストーリー。NYのLGBT映画祭で知られるNewFestの観客賞など様々な映画祭にて受賞。



『お願い、静かに』 Their Voices

監督: 水谷江里 2018年/ポーランド/ポーランド手話・ポーランド語・日本語字幕・英語字幕/26分

日本人の水谷江里監督が寄宿制のろう学校で撮影した短編映画。ポーランドの聾学校や寮で日常を過ごす子どもたちのありのままの日常を1年間かけて追う。ろうの子供たちのさり気ない表情や行動を通して原始的な風景が浮かび上がってくる珠玉の作品。ポーランド映画祭2018上映作品。字幕提供: ポーランド映画祭

『キャラメルの言葉』 Words of Caramel ◎ジャパンプレミア

監督: ホアン・アントニオ・モレノ・アマドア 2016年/スペイン/日本語字幕・英語字幕/21分

手話を知らずに育った、サハラ砂漠の難民キャンプに住むろう者の少年。彼は親友のラウダ、キャラメルの言葉を表現するために文字を学び始める。彼の世界から見るこの世界の美しさと感覚的な体験を与えてくれる秀作。

◆公募11作品

公募作品から11作品を選出。アートやアニメ、コメディ等どれも 見応えがある秀作ばかり！会場投票で観客賞を決定します



『無音の海辺』 Silent Version Of Water Scene ◎国際ナショナルプレミア

監督：乔晟祥 (チアオ・ションシアン) 2018年/中国/中国手話・日本語字幕・英語字幕/12分/無音
無音の海辺で舞う、ろう者の男女の4人。音という束縛を捨て、人生を探求していくダンス・パフォーマンス。



『クラッシュ』 Crushed ◎国際ナショナルプレミア

監督：ジェイ・コワルチク 2016年/アメリカ/アメリカ手話・日本語字幕・英語字幕/5分/無音
休暇中、小さな町にやってきた夫婦は…



『パンにジャムをぬること』 Mitarashi

監督：瀬浪歌央 2018年/日本/日本語・日本語字幕・英語字幕/23分
大学1年生の琳が、耳の聞こえない女の子・すみれと出会う。互いの違いや共通点を見つけ、二人が心を通わせていく。



『強さはあなたの中に』 The Strength Within You - Be-YOU-tiful ◎国際ナショナルプレミア

監督：トゥルーディ・サージェント 2017年/アメリカ/日本語字幕・英語字幕/4分
とあるカフェにいる女の子。そんな時に美女美男のカップルが入ってきて…



『MATHER』 MATHER ◎国際ナショナルプレミア

監督：チェイス・パートン 2017年/アメリカ/アメリカ手話・日本語字幕・英語字幕/23分
枯渇された星で彷徨う放浪者は神秘的な箱に出会う。その箱から与えられた種の力によって、創造が破壊が究極の選択を迫られる。



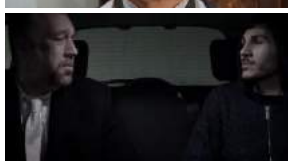
『聾女独白』 Young Chinese - Deaf Girl Monologue ◎国際ナショナルプレミア

監督：Sybil Liang _2018年/中国/中国手話・中国語・日本語字幕・英語字幕/15分
手話の「ヴァギナモノログ」から始まる、中国で生きるろう者女性たちが語る、耳が聞こえない人たちの世界。



『一日の嘘』 FAKING A LIVING ◎国際ナショナルプレミア

共同監督：ジョエル・チャルド/ジャン＝マリー・ハレゴ 2018年/フランス/フランス手話・日本語字幕・英語字幕/43分
ぼろアパートに移ったばかりのとある老年夫婦。仕事に出かけようとする老年男性だが、なぜか不運の連続に見舞われる。



『ドライバー』 DRIVER ◎国際ナショナルプレミア

監督：アントニオ・カナターネ 2018年/イタリア/イタリア手話・イタリア語・日本語字幕・英語字幕/21分
ロードドライバーのトム。とある日、男性からドライバーをやって欲しいと報酬を渡される。



『デフニング ダークネス』 Deafening Darkness ◎ジャパンプレミア

監督：マーク・トリフノビッチ 2017年/カナダ/アメリカ手話・英語・日本語字幕・英語字幕/20分
ワークショップを受けているろう者の女性と男性。とある日男性が突然行方不明になってしまう。彼を探し続ける彼女は以前から気になっていた黒いドアを開ける。



『ジンジャーブレッドの魔女』 The Gingerbread Witch ◎ジャパンプレミア

監督：ポール・ミラー 2018年/イギリス/日本語字幕・英語字幕/10分/無音
仲が良い双子のろう者アンダースと聴者オーロラ。彼らが住む村には村の子供たちが何世代もの間、姿を消していた。そんなある日、双子は魔女に出会ってしまう。



『ヘディとハイジ -生き別れた姉妹-』 Hedy and Heidi : The lost sister ◎国際ナショナルプレミア

監督：ジェイソン・ロバーツ 2018年/アメリカ/アメリカ手話・英語・日本語字幕・英語字幕/74分
小さい時に生き別れた姉妹のヘディとハイジ。成長したヘディは姉のハイジに会うために壮大な冒険に飛び出す。

<関連イベント>

* SYMPOSIUM 「日本・アメリカ・イタリアのろう映画祭からみる現在と未来」

シアトルろう映画祭ディレクター&CINEDEAF ローマ国際ろう映画祭の運営スタッフを迎えパネルディスカッション開催！

シアトルろう映画祭ディレクターとCINEDEAF ローマ国際ろう映画祭の運営スタッフをお招きし、各ろう映画祭の特色や運営方法、ろう映画祭の意義と可能性などについてお話しいただきます。進行役の今井ミカ氏と東京国際ろう映画祭の代表とともにろう映画祭の現在と未来について、パネルディスカッションを行います。

【プロフィール】

<登壇者>

- マイケル・アンソニー DEAF SPOTLIGHT の理事長兼シアトルろう映画祭のフェスティバルディレクター。
- ルカ・デス・ドリデス ローマ国際ろう映画祭(CINEDEAF)の創設メンバー。
- 牧原依里 東京ろう映画祭代表。映画作家。

<司会>

- 今井ミカ 映画監督。代表作『あだ名ゲーム』『虹色の朝が来るまで』等。

▶日時：2019年5月31日(金)20:30～22:00 会場：渋谷・ユーロライブ（東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 2F）

参加費：一般：前売券 800円 当日券 1,000円 / TDF サポーター：前売券 500円 当日券 700円 ※PassMarket パスマーケットにて販売予定

※情報保障：日本手話・アメリカ手話・国際手話 / 音声日本語・文字による日本語と英語

* SYMPOSIUM 「ろう者の言語、歴史、文化とオーラルヒストリー」

◎CINEDEAF（ローマ国際ろう映画祭）×東京国際ろう映画祭共同企画◎

オーラル・ヒストリー（口述記録）は、「個人や組織の経験をインタビューし、記録を作成して後世に伝える」方法のひとつです。手話が文字をもたない言語であることから、手話におけるオーラル・ヒストリーの重要性について以前から注目されています。今回 CINEDEAF（ローマ国際ろう映画祭）を主催しているローマろう研究所（ISSR）の職員ルカ・デス・ドリデス氏をお招きしローマろう研究所で実施しているイタリア手話のオーラル・ヒストリープロジェクトについてお話しいただきます。その他、森壮也氏、小谷眞男教授と各分野で活躍されているご登壇者を迎え、手話とオーラル・ヒストリーの意義についてお伝えします。

【プロフィール】

<登壇者>

- ルカ・デス・ドリデス ローマろう研究所（ISSR）職員（ろう研究員、アーキビスト、司書）
- 森壮也 手話言語学者・開発経済学者、IDE-JETRO 主任調査研究員。日本手話学会元会長、障害学会元理事。
- 小谷眞男 92～94年イタリア遊学、お茶の水女子大学教授。専門はイタリア法史。

▶日時：2019年6月5日(水)19:00～21:05（受付 18:30～） 会場：イタリア文化会館 1階エキジビジョンホール（東京都千代田区九段南2丁目1-30）

参加費：一般：前売券 800円 当日券 1,000円 / TDF サポーター：前売券 500円 当日券 700円 定員：80名（定員に達し次第締切）

申込方法：URLより申込フォームへアクセスしてお申込みください。 <https://goo.gl/forms/eDOyzgvesL4aHxx72>

※情報保障：イタリア語・日本語・日本手話・音声認識アプリ UD トークによる多言語音声認識 & 翻訳機能を使用し文字による日本語とイタリア語を提供。

* WORKSHOP 「アメリカ映画業界のろう者と聴者」—The Deaf Essence in the Film Industry—

本映画祭で日本初上映される『リバース・ポラリティ』のジュール・ダメロン監督と、主演俳優ジョシュ・カスティエーユ氏が特別記念ワークショップを開催！

【プロフィール】

- ジュール・ダメロン（ろう監督）ギャローデッド大学でテレビジョン・映画の学士号、南カリフォルニア大学で映画製作の修士号を取得。
- ジョシュ・カスティエーユ（ろう俳優）カリフォルニア州ロサンゼルスを拠点とするろう者のパフォーマンス・アーティスト。

▶日時：2019年6月2日(日)13:00～15:00 会場：チエステ・スタジオ松濤（東京都渋谷区 松濤 1-8-16 アトラス松濤 3階 チエステ・スタジオ松濤）

参加費：前売券 2,500円（当日受付 3,000円） 定員：45名（定員に達し次第締切）

申込方法：URLより申込フォームへアクセスしてお申込みください。 <https://goo.gl/forms/gO8GQwhQyNQE8nB2>

※情報保障：アメリカ手話⇔日本手話⇔音声通訳（日本語）で提供いたします。音声認識アプリ UD トークのご使用を希望される方は事前にお知らせください。

* CLOSING CEREMONY クロージングセレモニー

あなたの1票が決める！ 第2回東京国際ろう映画祭公募作品の観客賞受賞作品を発表します。

▶日時：2019年6月3日(月)16:40 上映回後 会場：渋谷・ユーロライブ（東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 2F）

<このプレスリリースのお問い合わせ・事務局>東京ろう映画祭実行委員会 東京ろう映画祭事務局（広報担当 飯野）

Fax 045-530-3078 E-mail: staff.tdf.tokyo@gmail.com